

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 栗原市立築館中学校

### ○ 私たちの取組

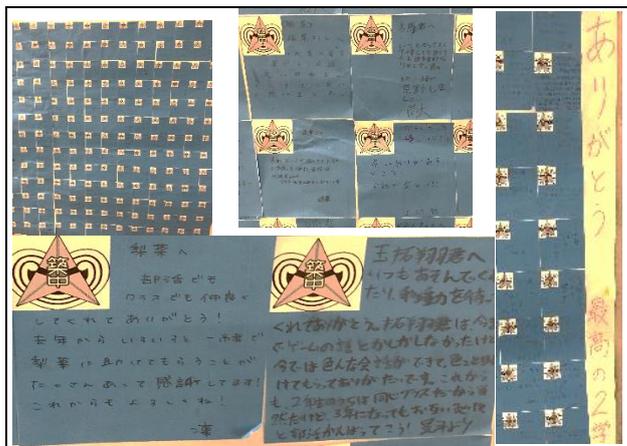
『ありがとうの気持ちや感謝を仲間届けよう』メッセージの掲示

### ○ 取組の紹介

- ・ 12月の生徒会キャンペーン活動では、生徒会執行部からの提案で「感謝の心」というテーマに基づいて話し合いが行われました。2学年の代議委員会では、一人一人に「仲間の良いところ」「感謝の気持ちを素直に表そう」という内容を学年の生徒に投げかけました。その言葉を代議委員が模造紙に貼って廊下に掲示しました。

#### 成果

- ・ 2学年の廊下に掲示したことで、2学年の生徒がいつでも見ることができるようになりました。
- ・ 仲間から良いところや感謝の気持ちを伝えられた事を素直に喜び、嬉しいという気持ちが表情に表れてその後の友人関係が良好になり学校生活が円滑になったと思います。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 栗原市立若柳中学校

### ○ 私たちの取組

挨拶運動「あさかぜ運動」の実施

### ○ 取組の紹介

「あいさつを、さわやかに、かわそうよ、ぜんいんで」という合言葉の頭文字をとり、取り組んでいる「あさかぜ運動」。この運動は若柳中学校で伝統的に行われてきている挨拶運動です。朝の登校時間に、部活動や学級単位で登校する生徒や先生方、地域の方々に挨拶をしています。

### 成果

継続して取り組んでいることから、若中生全員が挨拶に対して高い意識を持つことができています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 栗原市立若柳中学校

### ○ 私たちの取組

生徒朝会での挨拶についてのワークショップ

### ○ 取組の紹介

以前、「若柳中学校の課題とは」を題として、全校生徒で話し合いを行いました。その中で最も多かったのは、挨拶に対する意識は高いものの、ＴＰＯを踏まえた挨拶に課題があるというものでした。その課題を解決するためのワークショップを生徒朝会で行いました。同級生や友人、先輩や後輩、先生方や来客の方々などの目上の方々、それぞれに対するＴＰＯを踏まえたふさわしい挨拶について、ロールプレイなどを取り入れながら、実際に全校生徒で取り組みました。

### 成果

挨拶をする生徒の顔は自然と笑顔になっていました。挨拶で互いの存在を認め合い、積極的にコミュニケーションをとることで、いじめを生まない学校に近づいていくと考えています。



## (様式)「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立栗駒中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

私たち栗駒中学校では、「最強栗中」のスローガンを掲げ、生徒の士気を高めるために生徒会執行部が中心となってあいさつ運動を行っています。あいさつ運動は毎朝昇降口で行っています。月曜日は執行部員が行い、火～金曜日は部活動毎にローテーションで回って全校体制で取り組んでいます。

私たちがあいさつ運動を行う理由は二つあります。一つ目は、明るいあいさつを互いに交わすことで、人と人の心に架け橋を作ってほしいからです。二つ目は、あいさつをすることで学校へあまり気が乗らない人や、嫌なことや辛いことがあった人を少しでも元気づけ、一日を明るく笑顔で過ごせるようにしてほしいからです。まずは生徒と生徒の間でコミュニケーションをとり、いじめが発生するのを防ごうとする取組です。

この活動により、人と会ったとき自然にあいさつができる生徒が増えました。あいさつ運動を通して朝からあたたかい気持ちになれる、そんな雰囲気のある学校を目指していきたいと思っています。



## (様式)「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立栗駒中学校

- 私たちの取組  
ヒーロー選手権

- 取組の紹介

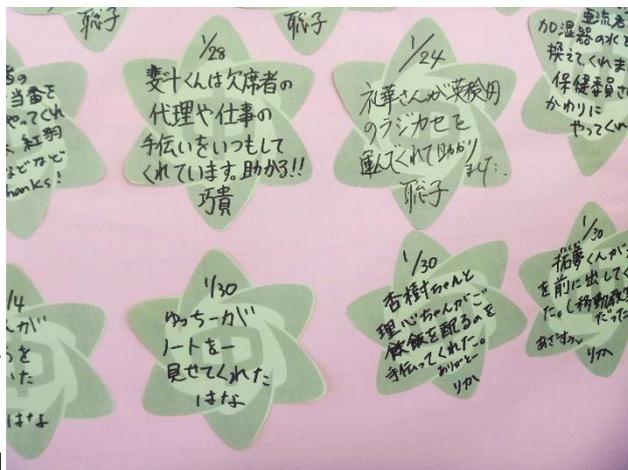
栗駒中学校では、生徒が互いを認め合う関係作りに努め、「行きたくなる学校」を目指して様々な取組を行っています。その一つが学年委員が主体となって行っている「ヒーロー選手権」です。

この活動は、良い行いをした仲間を見つけ、その内容を紙に書いて掲示する活動です。例えば、「〇〇さんが進んで教室の戸締まりをしていた」や「〇〇さんが保健委員の代わりに加湿器管理をしてくれた」などの投稿があります。

この取組には表彰があります。良いことを見つけて書いてくれた人の中で一番多い人には「良いことを見つけたでしょう」。良いことを一番多くした人には「良いことをしたでしょう」をあげています。賞状をもらえるように、良いことをし、良いことを見つけてほしいです。

この活動を始めてから、周りのために良いことをする人が増えたのと同時に、積極的に仲間の良い行動を探して、紙に書いて掲示する人が多くなりました。良い行動をする人が多くなったので、このまま継続していきたいと思います。

廊下に掲示したことにより、保護者の方や来校者の方等、誰にでも「ヒーロー選手権」の取組を確認してもらえるようになっています。



# ○ 私たちの取組

あいさつについて考える道徳  
(生徒会主体)



# ○ 取組の紹介

あいさつについて考える道徳では、  
まず、始めにあいさつする場面・メリットについてみんなに聞きました。  
最初は、個人で考えてもらい、その意見を班で発表してもらいました。

1つ目「あいさつをどこでするか」

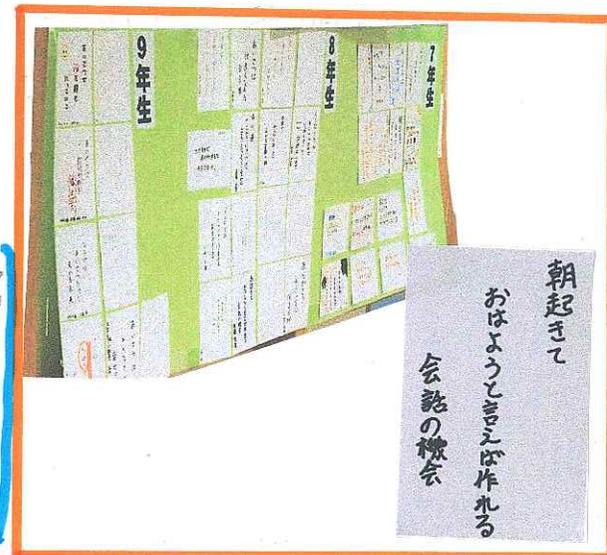
意見

誰かに会ったとき  
ご飯を食べるとき  
起きたとき  
ねるとき など

2つ目「あなたが思うあいさつのメリット」

意見

自分・相手が良い気分になる  
初対面でも話しやすくなる  
相手への敬意を表す  
第一印象を良くできる



この2つの質問への意見をもとに あいさつをしたくなるような標語を作ってもらい掲示しました。  
そして、掲示した標語から投票で各学年の最優秀賞を決めました。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 栗原市立栗原西中学校

### ○ 私たちの取組

「メニートークキャンペーン」

### ○ 取組の紹介

昨年度の臨時生徒総会で「いじめ防止宣言」を行い、今年度は、その実践のひとつとして、生徒会執行部が中心となり、「メニートークキャンペーン」を実施しました。1週間という期間を決めて、共通の題について、休み時間などにクラスメイトと一対一で会話をする。そして、何人と会話できたかを確認するものでした。

また、生徒集会では、広報委員会が中心となり、話題となるカードを配布してその題について、クラスや学年の枠をこえたメニートークを行いました。

#### 成果

実施後の感想には、「共通の話題があって話しやすかった」「もっといろいろな人と話をしたい」「周囲のことを気にするようになった」「みんなと話そうと頑張った」「普段なかなか話をしていない人と話題をふくらませるためにいろいろ考えた」など肯定的な感想が多くありました。



## ○ 私たちの取組

- ・あいさつ運動 ～「一挨拶」(いちあいいっさつ)による, 明るい学校づくり～

## ○ 取組の紹介

- ・栗原南中学校は, 高清水中学校と瀬峰中学校が再編し, 新設された学校です。両校の生徒会が大切にしてきたあいさつ運動を, 栗原南中学校の伝統にしていきたいと考え取り組んできました。今年度は, 高清水と瀬峰の両地区の方々に愛される学校とするため, 「一挨拶」を挨拶運動のテーマとしました。「一挨拶」とは, 挨拶の一つ一つに気持ちを込め, お互いに快く生活ができるようにするという意味が込められています。挨拶をするときは, 「相手の目を見て」, 「立ち止まり」, 「状況にあった声量で」挨拶することを意識して活動しています。
- ・生徒会では, あいさつ運動を2つのステップで考えています。今年度は, 南中生のあいさつの向上を目指し, 生徒会から全校生徒へ, 上級生から後輩へ, 「良い挨拶とは何か?」を全校生徒で考えていくことを大切にしています。来年度は, 小学校へ出向いてのあいさつ運動や, 地域の人を通る場所でのあいさつ運動をしていこうと考えています。そのためにもまずは, 「南中生のあいさつは素晴らしい!」と言われるような挨拶を, 当たり前の挨拶として定着させていきたいです。
- ・「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」について, 考えていく中で, 人間関係を円滑に進めていくことが大切だという考えに至った。大きな取組よりも, 毎日継続できる取組を行っていきたいという生徒の意見を踏まえ, あいさつ運動の在り方を考えることを「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組とした。来年度も継続してあいさつ運動に取り組んでいきたい。



## 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

栗原市立志波姫中学校

### ○私たちの取組

生徒会による「いじめを生まない、行きたくなる学校作り」会議

### ○取組の紹介

生徒会メンバーで、現在のクラスの様子や、学校生活の中で嫌だと感じることについて話し合いをしました。「自分がないところでこそこそ言われる」「じゃれ合いがすぎている」などの課題が見つかりました。自分がされて嫌なことは人にしないことはもちろん、みんなで何でも話せたり、嫌なことがあった時、そのことをきちんと伝えたりできるような雰囲気が学校全体にほしいと思います。そういった雰囲気を作っていくために、生徒会として、遊びによる交流を企画したり、すれ違う人にあいさつを試してみたりすることにしました。

今までに、生徒朝会では、生徒会による企画として全校じゃんけんピラミッドを行い、交流を深めています。クラス対抗だったので団結力が生まれる機会となりました。

こうした活動を多くして、普段話さない人と話せるような会を増やしていきたいです。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川中学校

○ 私たちの取組

三校連携挨拶運動

○ 取組の紹介

明るい挨拶が飛び交う学校を目指して三校連携挨拶運動を実施しています。古川中学校の生徒会執行部含む代表生徒が、古川第一、第四小学校の生活委員会の児童と一緒に小学校の校門前で挨拶運動をしています。この活動によって小学生と中学生の距離が縮まりました。中学校入学への不安が軽減されることを期待しています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川中学校

○ 私たちの取組

小中交流会

○ 取組の紹介

小学生に古川中学校がどんなところか知ってもらうために、小中交流会を行っています。小中交流会では、古川第一、第四小学校に生徒会執行部が訪問し、6年生の各クラスで古川中学校の紹介、質疑応答、英語科の先生と一緒に出前授業を行っています。この活動を通して、古川中学校に入学することへの期待を持たせ、不安を軽減することができると思っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川中学校

- 私たちの取組  
生徒総会での話し合い（生徒手帳の規約見直し）
- 取組の紹介  
誰もが過ごしやすい学校を作るための新たな取組として、生徒総会で生徒手帳規約の見直しについての話し合いを行いました。  
生徒手帳の記載内容を確認し、より良い学校生活を送るためにはどうしたら良いかを全校生徒で検討しました。たくさんの意見を出し合い、全校生徒が納得できるような規約を考えました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大崎市立古川西中学校

### ○ 私たちの取組

いじめ防止標語コンクール

### ○ 取組の紹介

- ・6月から7月にかけて、全校生徒から標語を募集しました。
- ・校長先生を審査委員長にして優れた標語を表章しました。
- ・最優秀賞にあたる「長沼寛」は、「いじめをねやめるじゃなくて始めない」という標語でした。
- ・他にも表彰を受けた作品を一覧にして、古川西中学校区の4つの小学校に掲示してもらいました。これにより、中学校の取組が小学校にも広がっていくと考えています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川北中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

生徒が互いを認め合う関係作りに努め、「だれもが行きたくなる学校」を目指し、生徒会が主体となって毎朝あいさつ運動をPTAの方々と一緒に行っています。あいさつには、人と人を繋ぐ力があると考えます。全校生徒のつながりが強くなれば、お互いに相談したり助け合ったりして、いじめの起きない学校になると考えます。

この活動を継続することで、進んで挨拶する雰囲気为学校全体に広げていきたいと思ひます。普段、廊下ですれ違ふ際にもお互いに自然に挨拶ができるようになることを目指して行きたいと思ひます。

また、あいさつは「地域で実践できてこそ本物」と考へ、「いつでも、どこでも、誰にでも」を合ひ言葉に、更にこの運動を広げようと頑張っています。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立古川北中学校

○ 私たちの取組

意見箱の設置

○ 取組の紹介

古川北中学校では、生徒が互いを認め合う関係作りに努め、「だれもが行きたくなる学校」を目指して様々な取組を行っています。そのような中、現在「意見箱の設置」の準備を始めています。この「意見箱」には学校生活をよりよくするために、生徒のみなさんから提案や要望などの意見を書いてもらい、意見箱に入れるというシステムです。そして、意見箱に入れられた意見には、生徒会役員がきちんと回答していこうと考えています。また、この意見箱には提案や要望だけではなく仲間が行った良い行動を発見し、その内容を書いてもらいたいとも考えています。そうすることで「仲間の良い行動」を積極的に探す意識を持てるようになる考えたからです。これから始める活動ですが、積極的に人の良い行動を探す人が増え、良いことをして周囲のために尽くそうとする人が多くなることで学校からいじめがなくなるようにしていきたいと思ひます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大崎市立古川東中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつ運動

～あいさつについて考えるきっかけをつくり、生徒間の交流の幅を広げることで、いじめを生まない～

### ○ 取組の紹介

- ・部活毎に1週間交代で行う。
- ・場所は、昇降口前。(悪天候時は昇降口内廊下)  
朝の登校時間7:50～8:05
- ・挨拶を返してくれた人数をカウントして、昼の放送で報告することで意識を高めている。

〈成果として〉

- ・あいさつを返してくれる人が増え、交流の幅が広がった。
- ・これからも継続して行い、全員が誰とでもあいさつのできる学校にしていきたい。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大崎市立古川東中学校

### ○ 私たちの取組

全校生徒の要望や相談に答える目安箱(ポスト君)

～意見を反映することで、困っていることを把握し改善することでいじめを生まない～

### ○ 取組の紹介

- ・設置場所:各階廊下。月2回、回収
- ・要望などは中央委員会で協議し、委員会などで対応を検討する。
- ・誰でも気軽に利用できるように設置場所などを工夫した。
- ・全校生徒の意見を反映することができる。

〈成果として〉

- ・意見を述べやすい環境にすることができた。
- ・これからは、道徳の授業などで培った「いろいろな考えを取り入れる」ことも活用して、さらに思いやりの心を育てていける学校にしていきたい。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 大崎市立古川南中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

朝昇降口前で7時50分～8時05分まで行っています。校内でもすがすがしくあいさつができる生徒同士の関わりを増やすことを目標にしています。各部活動が1週間ごとに交代して取り組んでいます。また、生徒会執行部は毎朝取り組んでおり、日々努力しています。

今年度は、毎週木曜日に世界のあいさつを取り入れるキャンペーンを実施したり、活動後に生徒会長と参加部活動でのミーティングをしたりと、昨年度の反省点を改善しながらあいさつ運動に取り組んでいます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

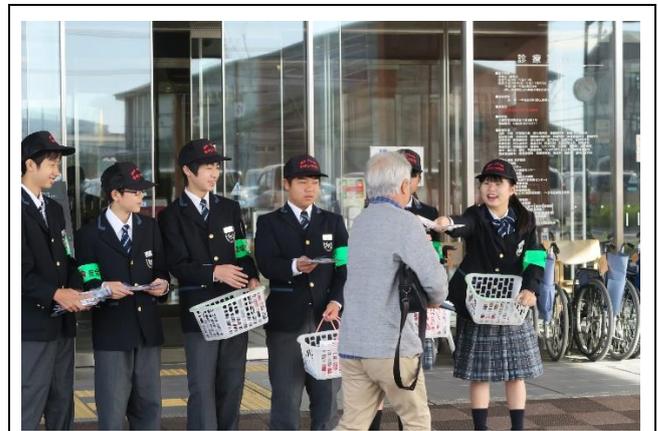
## 大崎市立古川南中学校

### ○ 私たちの取組

特殊詐欺防止の呼び掛け

### ○ 取組の紹介

古川南中学校生徒会は、南中アルカスという自主防災組織を結成しています。古川警察署生活安全課の皆さんと協力して、特殊詐欺防止の呼び掛けを行いました。地域の人たちが安心して過ごせる、明るい地域づくりを目指す活動の一環として取り組みました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立松山中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動, あいさつMVPの実施

○ 取組の紹介

- ・ 1週間ごとに各部活動の生徒が校舎前に立って登校してくる生徒にあいさつを行う。
- ・ あいさつ運動への参加率, あいさつの仕方(笑顔で元気よく, 相手の目を見る, あいさつに一言付け加えるなど)を基準に, 全校生徒の投票によりMVPを決めて表彰する。
- ・ 月曜日と金曜日には, 生徒会執行部と有志の生徒も加わり, あいさつ運動に参加している。
- ・ 各学級内や地域に対して自然なあいさつができる生徒が増えてきた。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立松山中学校

○ 私たちの取組

ふれ合い演奏会

○ 取組の紹介

- ・ 中学校の吹奏楽部が小学校で訪問演奏を行い, 音楽を通して交流を深める。
- ・ 今年度は鑑賞に加え, 小学生の参加も募って演奏に合わせてダンスを行った。中学生が率先して声を掛けたり, 手をつないで誘導したりすることで場の雰囲気をもたせ, 盛り上げた。
- ・ 小中で連携し, 子どもたち同士が関わる場を設けることでコミュニケーションの活発化を図り, いじめを生まない雰囲気作りにつなげている。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立三本木中学校

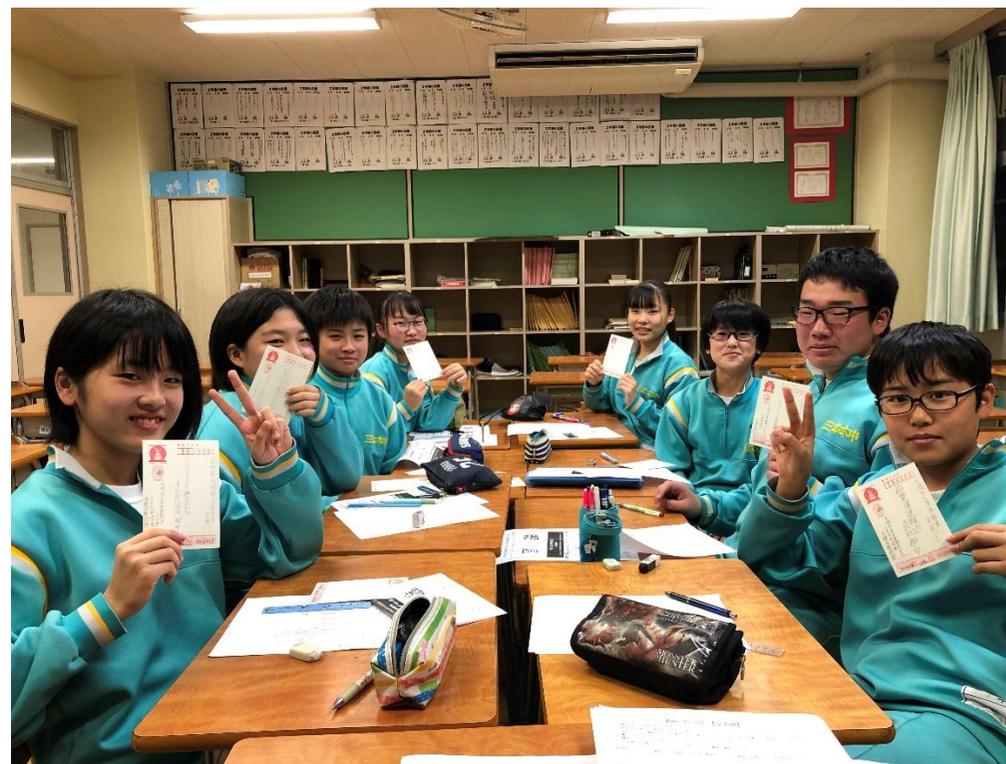
### ○ 私たちの取組

地域の企業に年賀状を送ろう！

### ○ 取組の紹介

8月のフォーラムを通して、三本木中学校の生徒会としてどのような活動ができるかを考え、三中生が地域の方々にも元気な挨拶ができることを発信したいという意見が出ました。そのため、三本木の地域にある事業所に「新年の挨拶」と「三本木中学校で取り組んでいること」について、生徒会執行部で年賀はがきを作成しました。現在、三本木中学校では、「元気な挨拶をすること」を全校で心掛けており、年賀状を作成するに当たり地域の方々にも元気な挨拶をしていくことを書きました。

この活動を通して、「三本木中学校では元気な挨拶を心掛けていること」を地域に発信し、日々の挨拶を大切にしていることを伝えました。また、年賀状を書くことを通して、メールやSNSとは違った、書いて伝えることの良さを感じることができました。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 大崎市立鹿島台中学校

#### ○ 私たちの取組

災害ボランティアに端を発する校内プチボランティア活動

#### ○ 取組の紹介

鹿島台地域は、台風19号により一部地域に浸水被害が出ました。生徒会で何かできることはないかと考えていた矢先、復興ボランティアを行うことが決まりました。1回目は学年ごとに被災地域に行き、家の中のものを片付けたり、稲藁の片付け作業を行ったりしました。2回目は3年生が地域を元気付けようと、「まごころ届け隊」と称し救援物資を各家庭に配って回りました。この活動することを通して、地域の人々とより深く関わるとともに、地域に貢献できたのではないかと思います。

また、大阪府羽曳野市立峰塚中学校から支援としてタオルをいただいたことをきっかけに、県外の中学校との交流をすることができました。お礼状を書く際には、校内から感謝のメッセージカードを一緒に書いてくれる人を「校内プチボランティア」として募集し、多数の生徒が参加してくれました。

これらのボランティア活動の中で、地域に貢献していると実感し、人のためになることが楽しいと感じた生徒が多数いました。このような達成感を得たことが、行きたくなる学校づくりに繋がっています。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 大崎市立岩出山中学校

#### ○ 私たちの取組

生徒会誌「花鳥風月」の小学校での掲示

#### ○ 取組の紹介

1月に行われた生徒会サミットの話合いにおいて、小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組の案として、「地域の方々との交流」や「小学校と連携したあいさつ運動の実施」、「中学校の掲示物を充実」させるなどの意見が多くありました。案の多くが地域全体のコミュニケーションや絆を深めることを目的としていました。

岩出山中学校では生徒会執行部の活動内容を知らせたり、協力してほしいことや予定を連絡したりするために、生徒会誌を発行しています。小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組として、小学校とのコミュニケーションを深めることを目的として、小学校にも生徒会誌を掲示してもらい、中学校の様子を小学生に知ってもらえるようお願いする予定です。これをきっかけとして、小学校や地域との交流を広げられるようにしていきたいと思います。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

大崎市立鳴子中学校

○ 私たちの取組

学校掲示板の充実

○ 取組の紹介

掲示板を充実させていくことで、生徒自身が見通しを持って学校生活を送れるようになること、様々な情報を生徒会から発信することで話題の共有化をねらいとする。

2月は3年生への応援メッセージ、日常のベストショットの掲載、月予定などを掲示した。今後はさらに内容のレパートリーを増やしていきたい。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 大崎市立田尻中学校

#### ○ 私たちの取組

- ・生徒会員の思いや声を聞く「目安箱」の設置

#### ○ 取組の紹介

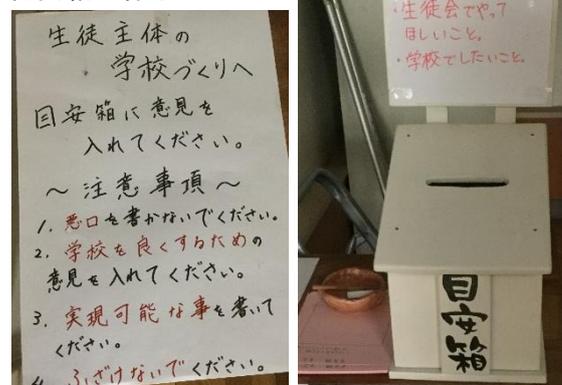
(1) いじめを生まない、「生徒が行きたくなるよりよい学校づくり」のために、全校生徒から学校生活への思いや生活環境等の向上策等の考え、意見を「目安箱」に入れてもらいます。その際、予めテーマを設定して会員が考えやすくしました。

(2) 投函された意見は、「中央委員会」で議題として検討したり、「生徒集会」、「昼の校内放送」等で紹介したり実行したりするなど、レスポンスを早くすることを大切にしています。

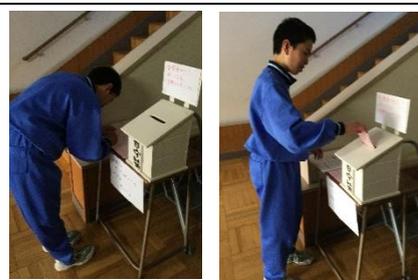
(3) 少数派の意見等を大切にするために、1階階段入り口の誰でも往来して投函しやすい場所に設置しています。生徒一人一人が学校生活についての意見や日常の思い等を主張できる環境をつくり、生徒相互に傾聴、発表、意見交換等が少しでもしやすい「学校づくり、生徒会づくり」を目指しています。

(4) 2月上旬に、本校学区内各小学校の保護者及び児童等を対象とした田尻中「入学説明会」において、生徒会役員から「行きたくなる学校づくり」の取組(「目安箱」活動を含む)をパワーポイントで説明して、標記テーマ啓発の共通理解を図り、よりよい学校生活実現のために、考えを一人一人がもつように提案しました。併せて、多様性を認め合う寛容な心と、生徒相互に「人権感覚」を意識し、身に付けていくことが、「行きたくなる学校づくり」並びに「自分の居場所のある居心地の良い学校生活実現」につながることを、PTA本部役員会及び学年PTA等で話題にして、生徒会活動の一端の理解、啓発、共通認識を図っています。

目安箱の様子



投函の様子



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

加美町立宮崎中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語」の発表会

○ 取組の紹介

いじめを防止しようと考え、クラスで「いじめ防止標語の発表会」を行いました。発表会では、6つのグループごとに自分の考えた標語を発表しました。そして、それらの標語について意見を出し合いながら、より良い標語にし、最後にクラスの皆の前で発表しました。

標語を作成した成果として、多くの生徒から「いじめをなくそう」や「いじめを見たら勇気を出して止めよう」といった声が挙がってきました。

これからも「いじめゼロ」の学校にするための取組を続けていきたいです。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

加美町立宮崎中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語」の掲示

○ 取組の紹介

校内で「いじめ防止標語」を募集しました。そして、生徒会総務を中心に9名の生徒の標語を推薦し、全校生徒が通る3ヶ所に掲示しました。

生徒会総務は標語を掲示する際、全員に見てもらえるよう文字を大きくするなど、見やすくなるように工夫を重ねました。すると、標語を見た生徒たちから「クラスで、いじめをなくそうね」といった声が、多く聞こえるようになってきました。

これからも「いじめゼロ」の学校を目指し、いじめ防止に取り組んでいきます。



## (様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

加美町立小野田中学校

### ○ 私たちの取組

生徒会劇～「挨拶が溢れる」学校にするために～

### ○ 取組の紹介

今年度の生徒会スローガンである「咲き誇れ！小野中花」の取組の一端として、文化祭で挨拶運動に関わる生徒会劇を演じることにしました。

ストーリーは、ある生徒が何者かに倒されるという事件の謎を解決するために、名探偵扮する執行部員が奔走するというもの。犯人がある生徒に挨拶を無視されたことが動機で、事件を起こしてしまったのだった。

挨拶を通して活気のある学校を作っていこうということや、挨拶を通してコミュニケーションを図り、よりよい人間関係を築いていこうということを、笑いを交えた劇を通して、全校生徒に考えさせることができました。



## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 加美町立中新田中学校

#### ○ 私たちの取組

加美町を動かし、「服のチカラ」を世界に届けよう！

～中学生のいま、世界のためにできることを考え、実行する～

#### ○ 取組の紹介

中新田中学校2学年では、ユニクロ・GUで行っている「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに応募して参加しました。プロジェクトへの参加の報告とねらいを知らせるためのオリエンテーションを行い、学年のリーダーによるテーマ設定と回収先の業種で分けたプロジェクトチームの編制を行いました。チームは、教育機関(2チーム)、地域、店舗に分け、目標を段ボール100箱と設定しました。

チームごとに回収場所のリストアップやPRと回収の方法の検討を行い、さらに小グループに分け、「5W1H」に着目し、企画書を作成しました。また、回収先にてプロジェクトの趣旨や活動についての説明と打合せを生徒が主体となって行いました。

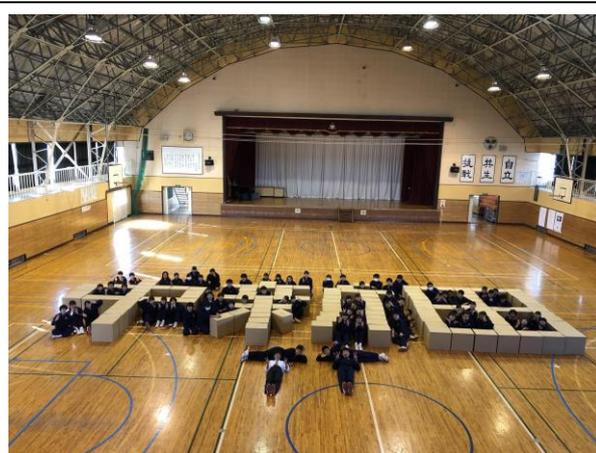
PR用のポスターやチラシ、回収箱の作成を行い、加美町の各小学校や加美町役場を始め、加美町の各事業所でPR活動を行ったり、回収箱の設置、回収作業を、夏休み以降から10月末まで行いました。回収先へ直接出向き、大人を相手に説明や打合せを通して、コミュニケーション能力が高めることもできました。特に、小学校から回収したチームでは、小学校の祖父母参観や学芸会などを回収日に設定し、小学校の先生、児童、保護者の方にも活動が理解され、協力が得られるようになり、小中連携による活動につながりました。その結果、目標をはるかに超え、190箱も集めることができました。

成果としては、自発的に活動することで、いろいろな生徒がリーダーシップを発揮したこと、協働的に活動する雰囲気が醸成されたこと、テーマの達成に向けて活動する姿には、社会参画意識や責任感の高まりが見られたことなどが挙げられました。

まとめでは、「中学生にもできる社会貢献があることに気付いた」「これからも自分たちにできることを考えて実行していきたい」という声が多く出ました。本プロジェクトは、社会貢献の大切さに気付いたり、社会の一員としての生き方について考えたりするための機会となりました。また、地域から回収するチームでは、多くの人たちに活動を知ってもらい、協力を得るため、町役場や新聞社に活動の説明を行い、町の広報誌、河北新報にPRの記事が掲載されました。その結果、町内に留まらず県内全域から服が届けられました。また、東日本大震災に伴う二次避難で加美町に身を寄せた経験がある南三陸町の方からは、「8年前の恩返しになれば」という思いから、大量の服を回収し届けていただきました。その様子が地元紙で紹介されました。



中新田保育園の始業式にて、園児に向けて、難民や服の役割について、「〇×クイズ」形式でPRを行っている。夏休み中も、園児たちにどのようにPRすればよいかを考え、準備をしました。



11月12日(火)に目標数を上回る120箱分の服が回収できたことを喜び合った後の様子です。学校名にちなんで「中新田」の文字を段ボールで描き、本校の体育館で撮影しました。

## (様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

### 加美町立中新田中学校

#### ○ 私たちの取組

「小中交流会 『～中学生が小学校へ～ (1年生)』『～小学生が中学校へ～ (2年生)』」

#### ○ 取組の紹介

##### <1年生>

中学校区の3つの小学校のうち1校を訪問し、小学校の授業のお手伝いをしました。勉強で分からないところを教えたり、作業のアドバイスをしたりと、先輩として見本になるような関わりを心掛けました。また、学校に戻ってからは部活動体験に合流し、小学生と一緒に活動しました。自分が所属する部活動に興味を持った小学生が、さらに入部したいと思えるように、積極的に声を掛けながら取り組みました。来年入学してくる後輩たちを前にして、立派な先輩になろうという気持ちがより一層強くなった活動でした。



小学校の図画工作の授業では、紙をちぎって貼る作品づくりをお手伝いしました。アイデアが浮かばない小学生に、「こうやるといいよ!」とアドバイスをしました。

##### <2年生>

中学校の授業に小学生を招き、一緒に勉強しました。中学生と小学生で、ペアやグループを作り、小学校で学習する内容よりも、少し難しい課題に協力して取り組みました。中学校で学習したことを生かしながら、小学生にアドバイスをしたり、手伝ったりして、「中学生ってすごいんだ!」と感じてもらえるように努めました。部活動体験では、自分達の部活動の活動内容や、どのような雰囲気なのかを説明しながら、小学生が楽しめるように工夫を凝らしながら活動しました。部活動は小学校にはないので、不安を感じている小学生もいると思いますが、今回の体験を通して、先輩たちが優しくフォローしてくれるということを感じてもらえたと思います。

##### <生徒会執行部>

中学校の授業体験の後で、体育館で中新田中学校についての紹介プレゼンを行いました。中新田中学校生徒会の活動についてや、1年間の行事について、写真を見せながら発表しました。また、中学校生活の1日の流れをまとめたビデオを上映しました。プレゼンを見た小学生は、来年からの中新田中学校での生活についてイメージが明確になり、「はやく入学したい!」という気持ちになっていたように感じました。

(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

涌谷町立涌谷中学校

○ 私たちの取組

あいさつ週間

○ 取組の紹介

登校時、全校生徒が委員会ごとにあいさつを行う、「あいさつ週間」を設定し、実施しました。これは、生徒会の目標である「あいさつ輝く涌谷中学校」を実現するためのものです。あいさつを活発にすることで、明るい学校・楽しい学校になるのではないかと考えています。「あいさつ週間」をとおして、大きな声であいさつをするようになり、自主的に参加する生徒も増えたことが成果です。この取組がさらに充実するように、あいさつの大切さについて、声掛けを続けていきたいと思えます。今後は、小学校や地域の皆さんとも協力して、涌谷町全体で「あいさつ運動」を行う体制をつくり、明るく声を掛け、関わりやすくなる雰囲気高め、「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」を目指していきます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

## 美里町立小牛田中学校

### ○ 私たちの取組

あいさつ運動

### ○ 取組の紹介

わたしたちの学校では、毎朝昇降口で学級ごとにあいさつ運動を行っています。お互いに明るい挨拶を交わすことで、朝から爽やかな気持ちで学校生活を送ることができます。学級内の生徒同士のコミュニケーションだけでなく、全校生徒の仲間意識が高まり、いじめを生まない行きたくなる学校づくりにつながると思います。また、水曜日は、近くのトレーニングセンターで生徒会総務が中心となって、あいさつ運動を行っています。小牛田中学校の生徒以外にも、地域の方や小学生、高校生の方にも積極的にあいさつをすることで、明るい雰囲気が広がると考えています。また、生徒会企画であいさつ運動強化月間を設け、より一層あいさつが飛び交う学校になるように努めています。今後も継続してあいさつ運動を続けていきたいと思ひます。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

美里町立南郷中学校

○ 私たちの取組

「南中ランド」(南郷中学校文化祭行事)

○ 取組の紹介

いじめを生まない行きたくなる学校づくりでの「私たちの提案」の中の「小学生と遊ぶ」、「他校とのレクリエーション等を用いた交流」を受け、南郷中学校では文化祭で幼稚の園児や小学校の児童を招いて交流をしました。私たちが作った、お化け屋敷やゲーム、科学実験など、地域の子どもたちに対する「おもてなし」を行いました。地域の園児や児童が、おうちの方と一緒にたくさん来てくれました。子どもたちに楽しんでもらえたのはもちろんのこと、一緒に来たおうちの方とも交流ができ、たいへん有意義な行事となりました。私たちはもてなす側だったのですが、様々な方と接することで、地域の中で、互いを認め合い、支え合って生きることの大切さを知ることができました。



(様式) 小学校や地域に広げていく「いじめを生まない行きたくなる学校づくり」の取組

美里町立南郷中学校

○ 私たちの取組

「地域でのボランティア活動」

○ 取組の紹介

いじめを生まない行きたくなる学校づくりでの「私たちの提案」の中の「交流会を開く」「小学生や地域の人たちと共同で、人通りが多いところであいさつをする」から、地域でのボランティア活動に積極的に取り組もうと考えました。地域のイベントで、「親子あそびの広場」や「南郷児童館一般事業スペシャルゲーム大会」、「じっちゃん、ばっちゃんの作品展」などに参加しました。ボランティア認定書をもらい、活動の成果を認めてもらえただけでなく、地域の中で様々な人と交流することで、地域の一員としての自覚を持つことができました。また、地域の方々に支えられていることが分かり、ボランティア活動を通して温かい気持ちになりました。今後も支え、支えられる活動を継続していきたいと思えます。

